

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふるるLiko/Lei		公表日		2026年3月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	1	死角ができないような工夫している。活動に応じて環境設定を変化したり、意見を出し合ったりしていくことが大切だと思う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	0	マンツーマンのスタッフと、フリーのスタッフが配置されており適切である。マンツーマン対応で配置したり、必要人数の確保はされている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	0	床の色が部屋ごとに分かれており子供にもわかりやすくなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	0	活動に合わせて簡単に環境をつくれるようになっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	0	マンツーマンでしっかり話せる場所もあり、子供たちも話を聞ける環境ができています。必要時は2階スペースも使用し工夫ができています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	0	PDCAを活用し、互いに知識を高めている。イベントなどがあつた際には毎回振り返りが行われている。活動後に振り返りをしたり個々に反省をし次につながるようできている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	1	保護者からの情報をスタッフ同士で共有し、連携につながっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	0	月1で会議の場を設け、改善点など話し合う場がある。問題があつた際は会議で解決策を考え実行できている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	21		第三者評価なし。運営規定記載されている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	0	様々な研修を受講でき、よい支援につながっている。施設内外で研修を受けることができ保護者の方も交えた勉強会も実施できている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	2	わかりやすく見やすくなっている	HPに公表されている。事務所内にも掲示し、支援に関わる全スタッフが理解出来るように努める。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21	0	保護者の悩みに1つ1つ向き合っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	1		面談後には記録を共有して、情報の周知をして支援を実施している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	1	スタッフ共通のツールを使い、確認できている。	大切な情報は会議で周知するなど、スタッフ全員が把握・確認できるように努める。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	1	イベント開催時にはチームで行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	0	同曜日、毎月ごとにプログラムが重ならないよう工夫されている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21	0	個別活動と集団活動で分けられている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	0	朝のミーティングでスタッフ間で活動の達成地を共有できている。朝にミーティングを行い情報共有できている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	0	振り返りをする事で、次の支援につながっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	0	子供の様子を細かく記録し残すことで、次に起案するスタッフが子供の特徴を把握し立案することができている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	0	管理者がモニタリングを実施し、改善策などの共有ができている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	0	会議にも参加し、理解に努めている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	0	医療配慮が必要な子など存在しているが、緊急時の病院連絡など事前に把握できている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	情報共有しながら、取り組んでいる。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	相互理解ができている。担当者会議にも参加している。就学前支援実施後に連携をとる機会がある	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	20	1	療育センター相談員さんとも連携を計りながら取り組んでいる。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	21	0	公園など交流することがある。保育園に遊びに行く機会も設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	送り出しで情報を保護者と共有し、成長の喜びなど共有できている。イベントなどで交流している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	0	勉強会の場を設けている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	0	契約時に丁寧に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	1	子どもの将来を見据え、今だけでなく、今後の見据え支援計画作成している。	面談の際に意向を確認しながら取り組んでいる。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	0	相談は随時受け付けております。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	0	親子イベントで交流する機会はあり、イベント自体も多く、保護者学習会も定期的を実施している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	0	保護者の悩みに1つ1つ向き合っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21	0	ブログ・インスタなどで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	配慮している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0	子供たちが理解しやすいよう端的に伝えるようにできている。その日の様子は連絡ノートの記載や、支援後、電話などで伝えるようにしている、	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	21	0	おもちゃつきや、お祭り・ヨガなど地域の方と交流する機会がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	1	事務所内各マニュアルが準備されている。	年間スケジュールを組み、訓練・研修を実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	1	BCP計画作成しており毎月決められた曜日に避難訓練が実施できている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	21	0	利用児一覧を用意し、初めて現場にはいるスタッフも確認してから支援にのぞめている 個別に緊急時の対応方法などファイリングされている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	クッキングなどの際は日案にも記載し全体把握できるよう努めている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0	計画書の作成しており、安全点検は支援終了後に毎回実施している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	1	緊急連絡先をまとめて保管している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	0	事故が起きた際は全体で共有し、保護者にもしっかり共有できている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	1	契約時に説明し、重要事項説明書に記載している。	